

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和6年3月15日

西東京市児童発達支援センターひいらぎ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	28	0	・法令を遵守したスペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切である	28	0	・法令で必要とされる配置数に加え、保育士や、言語聴覚士、公認心理師等の専門職、看護師を基準以上に配置しています。 ・欠席児がいる場合等もあり、日々職員配置を適正人数にするように配慮しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	28	0	・お子様、クラスに合わせて、視覚的に分かりやすく、整えられた環境を作る配慮や工夫をしています。 ・関係機関のおたよりやチラシなど、各種情報を掲示しています。 ・保護者がマジックミラー越しに指導の様子を見学できるようになっています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	28	0	・新型コロナウイルス感染症対策として、ドアノブや床、おもちゃ等を毎回消毒し、来所者には体調確認、大人のマスク着用、手指消毒をお願いしています。 ・お子様に合わせ、クラスごとに生活しやすく、わかりやすいように配慮しています。 ・トイレのドアやカーテンの開閉に配慮し、プライバシーを保つようにしています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	28	0	・保護者対象にアンケート調査を行い、ご意見に基づき、業務改善に努めています。 ・クラスごとのカンファレンス、職員会議、職員同士のコミュニケーションの中で課題を共有し、業務改善を進めています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	28	0	・評価表による調査を実施しています。 ・年度末までに検証し、翌年度以降の業務を改善するよう努めています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	28	0	・事業所評価は、集約・検証し、業務改善に努めています。 ・事業所評価は、西東京市のホームページで公開しています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	28	0	定期的に第三者評価機関による外部評価を実施しています。西東京市児童発達支援センター整備基本計画に基づき連携会議での確認を行っています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	28	0	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な研修の場を設けています。経験年数に応じたグループ編成での研修、地域子育て機関対象講座での研修、また、新人職員に対しては別途、職場内で研修を実施しています。 外部研修は、希望により参加できるよう配慮しています。 スーパーバイザーによる指導の検証研修の機会を、年1回確保しています。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	28	0	<ul style="list-style-type: none"> 専門職における各種アセスメントを実施しています。(小児神経科医、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、臨床心理士等) 基本的な生活習慣や、遊び、生活の中での様子や取り組みは、毎日の個別記録により、定期的にアセスメントを行っています。また、課題を客観的に分析し、次期の計画を作成しています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	28	0	<ul style="list-style-type: none"> 国リハ式<S-S法>言語発達遅滞検査、LCスケールでの評価をお子様に合わせて定期的実施し、発達を確認するよう努めています。 お子様の状況に合わせ、田中ビネー知能検査V、新版K式発達検査、等を実施しています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	28	0	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援計画を立案し、支援を実行していくための職員研修を実施しています。 各クラス内でお子様のアセスメント、それに基づく指導についての検討を丁寧に行い、また、保護者の希望も伺い、支援に必要な項目を選択し、適切な支援内容を設定しています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	28	0	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援計画を日常指導の中で、お子様に合わせて個別に具体化して実施しています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	28	0	<ul style="list-style-type: none"> カンファレンスの時間を取り、各クラスでお子様に合わせてプログラムを立案しています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	27	1	<ul style="list-style-type: none"> 季節やお子様の状態に応じた行事を含め、日々のプログラムを実施しています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	28	0	<ul style="list-style-type: none"> 集団生活の中で、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成しています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	28	0	<ul style="list-style-type: none"> 全体及びクラス内でプログラムを作成し、それに基づき、天候や体調面に合わせてその日のプログラムを確定させます。また、出席状況に応じた役割分担等を、始業前に必ず確認しています。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	28	0	<ul style="list-style-type: none"> 支援終了後、職員間で打合せ及び個別記録の時間を確保し、気付いた点等を共有するよう努めています。 	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 改善内容又は改善目標
	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	28	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の記録は、お子様ごとに個別に記入しています。 ・記録や打合せでの気づきを支援の検証・改善につなげるようにしています。
	⑲	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	28	0	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援計画の見直しは、基本は6か月に1回定期的に行っています。お子様の状況に応じて必要時に見直しを行います。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	28	0	<ul style="list-style-type: none"> ・障害児相談支援事業所のサービス担当者会議は、実施される際には、児童発達支援管理責任者及び担当職員が参画しています。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	28	0	<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健担当者とは、月1回会議を実施しています。 ・保育園、幼稚園とは、個別のケースごとの連携の他に、園への巡回訪問、公開講座や公開療育にご参加いただくなどの連携を行っています。 ・西東京市の児童発達支援にかかる連携会議を実施しており、庁内外の発達支援に係る機関、部署との連携を行っています。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	28	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保健、医療、福祉等関係機関と連携した支援を行うように努めています。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	28	0	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の主治医から医療情報提供書などの提出を受け、緊急時の対応や連絡等、体制を整えています。
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	28	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の同意を得て、保育所、幼稚園、特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っています。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	28	0	<ul style="list-style-type: none"> ・就学相談に関する説明会を実施し、保護者への情報提供に努めています。 ・市内特別支援学級の説明会を実施し、保護者への情報提供を行っています。 ・保護者のご希望に応じて、就学支援シートを作成して、情報共有と相互理解を図っています。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	28	0	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩地域の児童発達支援センターとの連絡会に参加し、情報収集や学びあいを行っています。 ・市内の児童発達支援事業所の連絡会を開催しています。 ・必要に応じ、東京都発達障害者支援センターや、市内基幹相談支援センター等と連携し、助言を受ける機会を持っている。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点 改善内容又は改善目標
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5	23	・単独療育グループ（毎日）のクラスでは、以前は市内の保育園と年数回交流をしていたが、コロナウイルス感染症感染防止により実施ができませんでした。児童館で遊ぶ機会は設けています。
29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	28	0	・自立支援協議会の計画策定部会には事務局として参加します。 ・自立支援協議会相談支援部会にはオブザーバーとして参加しています。
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	28	0	・マジックミラー越しにお子様の様子を見ることができ、相談が気軽にできるようになっています。 ・ご希望に応じて、保護者と担当職員、相談員と話す機会を設けています。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	28	0	・各グループの保護者会の中で学習会やワーク等を実施しています。 ・ご希望の年中・年長児の保護者（5名）対象にペアレントトレーニングを実施しました。 ・保護者対象講座「ペアレントトレーニングエッセンス講座」「先輩ママのお話を聞く会」「ライフステージにあわせた理解と支援の講演会」を実施しました。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	28	0	・契約時に丁寧に説明を行っています。
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	28	0	・個人面談の時間に説明し、保護者から同意を得ています。（ガイドラインは閲覧用をひらぎロビーに置いてあります。）
34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	28	0	・定期的な個人面談以外に、送迎時又は連絡帳等も利用し、コミュニケーションを図るようにしています。
35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	28	0	・単独療育グループの父母の会の活動について、所長を中心に連絡調整を行っています。単独療育グループ、親子参加グループでは、保護者会は定期的に行い、保護者同士のつながりが持てるよう支援しています。 ・課題別学習グループでは、指導の観察中やフィードバックの時間に保護者のつながりが持てるよう支援しています。
36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	28	0	・担任、児童発達支援管理責任者だけでなく、相談担当者、所長などが対応しています。

保護者への説明責

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 改善内容又は改善目標
任等	⑳	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	28	0	・各グループで、保護者会やフィードバックの時間を活用し活動内容の報告や、連絡事項を伝えています。また、おたよりを配布し、お伝えすることも実施しています。メール配信サービスを使用し、必要に応じて、連絡事項をお伝えしています。
	㉑	個人情報の取扱いに十分注意している	28	0	・個人情報の取扱いについては、鍵付きの書庫での保管、事務室への入室制限などに十分に注意を払っています。必要に応じて同意をとっています。
	㉒	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	28	0	・連絡帳等、記載に気になることがあれば、電話連絡を行っています。 ・意思疎通や情報伝達のための配慮をしています。
	㉓	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	27	1	・相談、市民講座等、地域支援事業を行っています。 ・児童降園後、園庭を市民に開放しています。
非常時等の対応	㉔	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	28	0	・業務継続計画、緊急対応マニュアル等を策定しています。職員間で共有し、緊急時発生を想定した訓練を実施しています。 感染症対応については契約時に保護者にプリントの配布と説明を実施しています。
	㉕	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	28	0	・避難訓練は、ひいらぎ内で月に1回行い、住吉会館全体の避難訓練にも参加しています。
	㉖	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	28	0	・てんかん等疾患がある場合、通所開始時に必ず主治医からの指示書をいただき、嘱託医、看護師とともに児童発達支援管理責任者、担任と一緒に確認しています。必要に応じて対応マニュアルを作成し、職員に周知をし確認しています。 ・お子様の健康状況は、通園時に確認しています。 ・単独療育グループでは年に1度、保護者に医療カードの記載をお願いし、医療情報を確認しています。 ・必要に応じて、嘱託医の医療相談を受けていただいています。
	㉗	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	28	0	・食事指導は単独療育グループのみ実施しています。 ・くじらグループの給食提供は、アレルギー対応が必要な児童については、医療機関でのアレルギー検査結果の提出、給食提供の確認の面談を行っています。 ・ペンギングループは弁当持参のため、食物アレルギーに関してはご家庭で管理していただいています。 ・行事等で提供する際には、その都度保護者に確認しています。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点 改善内容又は改善目標
④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	28	0	・報告書を作成し、職員間で共有しています。
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	28	0	・虐待防止委員会を設置し、年に1回の職員研修の実施や職員が相談、報告ができる体制を整備しています。 ・子ども家庭支援センターの連絡会等に参加するなど、情報共有を行っています。
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	28	0	・身体拘束は、行いません。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。